男の井戸端会議

男の
井戸端
会議

十周年記念誌

－表　紙－
揮　毫：藤原正男
ﾛｺﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ：髙山元宏

目　　次

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

１．発足から現在までの関係者

(1)発足に関わった皆さまの話（座談会の記録）・・・・　2

(2)１０周年を祝して　・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

２．活動の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

３．各同好会活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

４．定例会と関連活動記録　・・・・・・・・・・・・・・・24

５．男の井戸端会議の歌　　・・・・・・・・・・・・・・・34

編集後記　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

はじめに

地域のシルバー世代の男性が元気に過ごせるように・・・・と、平成１８年（2006）にここ東戸塚地域ケアプラザ※を拠点に『男の井戸端会議』というユニークな名前の活動が誕生しました。

爾来、１０年が経過しましたので、その足跡を記念誌として編纂し記録することに致しました。

『男の井戸端会議』は、この１０年の間に登録会員は１００名を超え、活動の規模も飛躍的に増大し、地域に根づいた活動となりました。

これはひとえに『男の井戸端会議』が高齢者社会の中における男性の居場所づくりという、時代のニーズに合ったことに加え関係者各位の絶大なるバックアップと、会員メンバーの『男の井戸端会議』に対する共感と支持によるところが大であります。

会の運営や進行にあたっては、「会費無し」「規則無し」のうえ、特にテーマも決めず参加者が自由に語り合う、まさに『男の井戸端会議』としたことで、親近感をもって受け入れられたのではないかと思われます。

１０周年記念誌の編纂にあたり、蓄積された１０年間の歴史を多数盛り込みましたが、これは単なる回顧にとどまらずこれからの高齢者社会に合わせた私達の生き方の指針になることを期待いたします。

そして、ほかの地域の高齢者活動のきっかけや、高齢者の日常生活に関心を寄せる関係者皆様の参考になれば望外の喜びです。

男の井戸端会議世話人　藤原正男

＜※＞　**地域ケアプラザ**

日本各地には地域の生活を支えていく「地域包括支援センター」があります。
『地域ケアプラザ』は横浜市だけにある施設で、地域ケアプラザ内には、
「地域包括支援センター」「居宅介護支援」「通所介護（デイサービス）」
「地域活動・交流」「生活支援体制整備」の５つの機能別の部門があります。
福祉や保健に関するサービスなどを身近な場所で総合的に提供する施設で、市内の地域ケアプラザ数は、平成２８年３月末現在で１３４館、戸塚区では１０館あります。

１．発足から現在までの関係者

（１）発足に関わった皆さまの話（座談会の記録）

『男の井戸端会議』は、１０年前の「偶然の出会い」が出発点です。その関係者に集まって頂く機会をつくることができました。当時を思い出して、いろいろと語っていただきました。

列席者は、
当時の東戸塚地域ケアプラザ職員の
・田邊裕子さん（所長）
・新井田（現姓・高橋）愛さん
（地域包括支援センター社会福祉士）

と、男の井戸端会議の発足を牽引し、今も中心となって活躍中の
・藤原正男さん　・雫石兼造さん　・山本勇さん

の５人の皆様です。

―― ここに、このきっかけとなった「事業企画書」があります。

藤原　：愛ちゃん（新井田）がこの「企画書」を書いたんだよネ。
そして私達に配ってくれたんだよ。

新井田：こんな資料があったんですか。
私が作ったんですって！全然覚えてないけど・・・感激です！

山本・雫石　：私の手元にもまだありますよ。

藤原　：（実施記録の方を示す）これは１回目から雫石さんがとっていた記録なんだよ。ところで企画書にあるミニデイって何のことだったの？

新井田：福祉業界で言われている用語ですが、デイサービスの小さいものっていう意味の表現だったの。人が集って皆が楽しく過す、男の人のためにそういうのを作りたいと讃井さん（当時のスタッフ）と二人で話し合っていたんです。身近なことから皆がお仲間になっていく、そうなったら素晴らしいと思いました。
まず、出かけて行きたくなる場所を提供できたら・・・と

雫石　：まさにそういう会になりましたねー。

田邊　：『男の井戸端会議』という名前、ユニークで面白いネーミングだけれど、どのようないきさつからですか。

藤原　：最初の打ち合わせの中で『女性にあって男性に無いものは何だろう』という発想から思いついたんだ。

田邊　：素晴らしく大きく育ったものですね。

新井田：私自身がビックリです。私はちょっと種を撒いただけです。皆さんと活動したのは２年位なの・・・。ここまで成長したのを見てホントに嬉しいです。今は遠くに離れていますけど（新潟県十日町在住）今もなお交流があることに、とても幸せを感じています。

田邊　：今から思うと発起人になって下さった方の顔ぶれが良かったのネ。それぞれタイプが違うのも良かった。

新井田：讃井さんと相談して藤原さん、雫石さん、山本さんに声をかけました。そして讃井さんと５人で打ち合わせを重ねて・・・。

雫石　：藤原さん、山本さんは知っていましたが、話をしたことは無かったんです。

山本　：そうですね。不思議なご縁を感じますね。

雫石　：お互いによく知らない３人が話を進め、“今”があるんですね。

――　第１回目の参加者は、１０名でした。

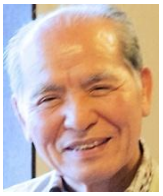
藤原　：最初は、ケアプラザの職員がお昼に弁当を食べる小さな部屋でこの“会議”がはじまったんでしたね。

山本　：そうでした。間もなく会員が増えて、大きい多目的室を使うようになりました。

――　何度かの更新があった「会員名簿（顔写真付き）」があります。

新井田：会員名簿はまるで卒業アルバムみたい。懐かしい顔がありますね～。

田邊　：いいお写真ですね～。



雫石　：「俺はこれを遺影にする」と言っている人もいますヨ（笑）。

新井田：毎回、『男の井戸端会議』の歌をみんなで歌うのが会のスタート。

山本　：名前が「・・・会議」なので今日は何がテーマですか？という人もいるんだけど・・・。

藤原　：テーマ設定の無いのが『男の井戸端会議』流！

新井田：『男の井戸端会議』はテーマが無いのが良いところね。この会は、お互いがいい年齢になってから知り合ったから良いという面もあるのじゃないかしら。若いうちだとライバル意識が出たりするけど、この年齢ではライバルではなくお互いに認め合うのですね。

山本　：ある意味、出来上がった者同士で、お互いに理解し合えるのかも。自分に無い魅力を持っている人がいるから会が愉しい。

――　2012 年 12 月に外部から活動紹介の要請がありました。

新井田：戸塚区職員研修会で事例発表したなんて、素晴らしいですね。

藤原　：初めに『男の井戸端会議』の歌を唄って、世話人みんなで活動の様子を発表しましたよ。

山本　：とても興味を持たれて、反響があったみたいです。

藤原　：噂を聞き及んで、いろいろなところから見学者がみえたけれど、なかなかその地では実現しないようだね～。

新井田：何故なんでしょう。

藤原　：その地域での世話人を見つけることがキーになると思うね。
手前みそになるけれど、東戸塚でのケースは世話人グループの存在が大きな要因なのでは・・・。

山本　：よく会を作るとすぐ結果を求められるけれど、『男の井戸端会議』ではそれが無かった、というのも良かったのではないかな～。

新井田：１０年前に５人で話し合った時には、これほどになるとは・・・思いもよらないことでしたね～。

藤原・雫石・山本：そうだよネ。当事者の私達が一番驚いていますヨ。

田邊　：こんなに大所帯になって・・。凄いですね。横浜市の中で福祉に関わっている立場としても誇らしいですよ。

新井田：「この井戸端会議に入るかどうかで、その方の以後の人生が変わると思います！！」・・・、言い過ぎかな？

山本　：今日は久しぶりに会って、このような話し合いはとても嬉しい・・。

藤原・雫石　：全く同感だね。

田邊・新井田：私達も、とっても嬉しいわ。

（２）１０周年を祝して

社会福祉法人　横浜市社会福祉協議会
横浜市東戸塚地域ケアプラザ　所長　樋口 宗典

『男の井戸端会議』１０周年おめでとうございます。

私が社会福祉協議会に入職し、最初の勤務先であった老人福祉センターでは、ボランティア活動する女性の悩みに「夫の面倒をみること」というものがありました。退職し、家ではゴロゴロ、家事は一切できない男性の面倒を見るために、ボランティア活動を休まなければならない女性が多くいました。

それから間もなく団塊世代が一斉退職する話題で持ちきりとなり、男性の地域参加への期待が高まっていたころ、『男の井戸端会議』が誕生しました。

その特徴的なネーミングと回を重ねるごとに盛り上がる『男の井戸端会議』の名は、あっという間に市内の福祉関係者の耳に届くようになりました。

こんな団体が全ての地域にあればどんなに楽しいことかと思いますが、型にはまらず、形を大事に、肩に力を入れず、参加される方々に上手くスポットをあてられるこの会は、なかなかマネをするには難しく、このように長年続けてこられたのも、世話人をはじめとした会員のみなさんの素晴らしい人柄に支えられたものだと感じております。

少子高齢化が進み、地域の担い手も高齢化する中、ますます地域活動の主役として、男性の地域参加が期待されます。

『男の井戸端会議』に参加される会員のみなさんは、これからもご自身と地域が元気になるように、日々の活動を楽しみ、健康にお過しくださることを願います。

そして、『男の井戸端会議』の歌に「しょせん一人じゃ生きられぬ」とあるように、多くの実りある出会いに満ちていくよう、お祈りいたします。

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
地域活動部長　田邊　裕子

男の井戸端会議１０周年おめでとうございます。

私は平成１９年８月に東戸塚地域ケアプラザの所長に就任しました。

当時『男の井戸端会議』は３０名程のメンバーが、毎月、東戸塚地域ケアプラザに集まり、活動をしておられました。藤原先生（元校長先生なので、皆さんに先生と呼ばれています）達世話人を中心に、歌を唄い、俳句を詠み、おしゃべりをし、メンバーのギター演奏に聴き入るなど、とても楽しい会でした。さらにメンバーそれぞれが交代で得意分野の講師を担うなど、様々な遊び？も楽しんでおられました。

ある日の藤原先生の講義は釣竿でした。「この鯛つりの竿は高価なんだよ～。」との説明と、そこに並べられた立派な釣竿に興味深々のメンバーの目は、まるで少年のよう。そして最後は必ず行きつけの居酒屋での反省会。（これは絶対！）

今では１００名程の会員を集め、ますます活発に活動されています。

私自身、東戸塚地域ケアプラザの所長職は１年半という短い任期でしたが、その間皆様には大変お世話になりました。中でも山梨県の「すずらんの里」へのバス旅行では、築１００年の藤原先生のご実家に泊まらせて頂き交流を深めました。偶然私の節目の年の誕生日であり、人生の先輩である皆様から温かい励ましの言葉を頂きました事、今でも忘れられない想い出です。

私は皆様に「生まれたばかりの男の井戸端会議に強力な肥料を施した人」という称号をいただきました。そう言っていただけるのはありがたいのですが、特別な事はしていません。この会の明るさ・楽しさ・紳士的で前向きな姿勢に私自身が魅せられているのです。女性ですので会員にはなれませんが、特別ゲストとして研修会等に同行させていただくなど、今でも時々お仲間に入れていただいております。

最後に皆様へ　　私は『男の井戸端会議』のファンとしていつまでも応援して　おります。そして今後の会のますますのご発展をお祈りしています。

（発足当時の東戸塚地域ケアプラザ所長）

横浜市都筑区社会福祉協議会
事務局次長　讃井恵美子

『男の井戸端会議』が発足して、はや１０年…私は立ち上げ当初のほんのさわりの期間のご様子しか分かりませんが、時折、井戸端会議の方々から、今では１００名を越す会員となり、各会も増え、活気ある「男性サロン」が東戸塚の地区で繰り広げられているご様子を伺いながら、みなさまの意気揚々と活躍されていることを嬉しく思っています。

思い出すのは、この会を始めるときのチラシに新井田さんが「参加できるのは、ずばり男！」と、キャッチフレーズを入れていたことを鮮明に覚えております。「この呼びかけで集まるのかな？」と、心配しましたが、新井田さんの思惑はピタリと的中しました。初回の打合わせも、「こんな内容とか、あんな内容とか・・」と提示しましたが、「大丈夫、自分たちで決めるから！」と、おおらかなお返事をいただき、「さすが！男の集まりだ！」と頼もしかったです。これからも、参加される方々のニーズにあった活動で地域に根付いた活動を広めて下さい。

立ち上げの数か月のお付き合いでしたが、今回の記念誌の発行にお声を掛けて頂き、ありがとうございます。『男の井戸端会議』の更なる発展と、みなさまのご健勝を心からお祈り申し上げます。

（元横浜市東戸塚地域ケアプラザ地域包括支援センター看護師
「男の井戸端会議」の企画者）

すうぷ社会福祉士事務所　高橋（旧姓　新井田）愛

男の井戸端会議１０周年、本当におめでとうございます。

私は『男の井戸会議』が誕生した平成１８年より２年半、地域包括支援センターの社会福祉士として東戸塚地域ケアプラザにお世話になり、微力ながら『男の井戸端会議』の立ち上げに関わらせていただきました。

私が男性の集まりを作りたいと思ったきっかけは、ケアプラザに着任間もない頃ある地域の高齢者のサロンにお邪魔させていただいた時のひとつの気づきにあります。それは、参加者のほとんどが女性で大変人気なのですが、男性は参加が少なく、部屋の隅のテーブルに固まり殆ど会話もすることもなく、居心地悪そうにされていたことです。やはり女性ばかりの集まりには男性は参加し

づらいのかな？ 男性だけの集まりがあれば参加しやすいのかな？ もしこのまま男性が地域とのつながりもなく歳を重ねていったらどうなってしまうのだろう？ …そんな風に思ったことを、当時先輩だった讃井看護師に話をし、男性が気軽に参加できる集まりを作れないか？ と考えました。そこで、男性が集まれる場＝≪男性ミニデイ≫と仮称を付けやってみようということになり、世話人になってくれそうな人は誰か？ と讃井看護師と考えました。まずは、そのサロンの中で１人だけアコーディオンを弾いたりしてエネルギッシュに活動されていた藤原さん、戸塚区のボランティア活動の第一線で活躍されていた山本さん、ケアプラザの広報紙ボランティアの雫石さんが候補に挙がり、声をおかけし、立ち上げに向けた準備会合を持つことになりました。

第一回目の会合の中では、まず私の気づきをお伝えし男性の集まりを作りたいという思いを伝えました。そして、例えば男性の料理教室とか、男性が興味を持ちそうなものを企画してみてはどうか？ と提案しました。しかし、私の安易な考えはいい意味で覆されました。ミニデイなんて名前じゃ誰も集まらないのでは？ どうやったら男性が集まるのかはまず男性に聞いてみるのがいいのでは？ そのためには男性の井戸端会議を開き、自由な議論の中から男性がしてみたいことを掘り起こしてみてはどうか？ と案がでたのです。私は「これだ！」と思いました。男性のための男性による集まりは、男性が主体的に作っていくのが一番、ということを皆さんが気づかせてくれました。そして藤原さん、山本さん、雫石さんが私の投げかけた思いを自分ごとのように考え、世話人になることを承諾してくださり、何度かの会合を経て、第一回井戸端会議が開かれたわけです。

そこから先の『男の井戸端会議』の快進撃は皆様のほうが良くご存じでしょうから、ここでは割愛させていただきますが、なぜこの会が成功したのかということを私なりに考えてみました。まずは、井戸端会議というテーマ無しの雑談の中で男性一人ひとりの思いを大切に、男性がしたいと思うことを拾い上げ丁寧に形にしていったこと、ケアプラザのお仕着せではなくこの地域に住む男性が主体的に会を作っていったこと、一見ルールがなさそうな井戸端会議ですが、参加者の発言を否定せずお互いを尊重し合うというルールを世話人が各グループの話し合いに入ることで徹底してきたこと、等ではないでしょうか。そうやってこの地域の男性が参加したいと思える、この地域のオリジナルの会が生まれたのだと思います。更なる１０年、２０年先の『男の井戸端会議』の発展を楽しみに、遠くから見守らせていただければと思っています。

（元横浜市東戸塚地域ケアプラザ 地域包括支援センター 社会福祉士
「男の井戸端会議」の企画者）

横浜市都筑区社会福祉協議会
大橋竜太郎

男の井戸端会議１０周年、誠におめでとうございます。

私は平成２０年９月～平成２６年３月まで地域活動・交流コーディネーターとして、５年半ほど『男の井戸端会議』を担当させていただきました。そのなかで担当として５周年記念イベントに関わらせてもらったのがつい最近のようにも感じ、とても懐かしい思いがいたします。

新しいメンバーの申し込みの受付をケアプラザで行っていたため、私が窓口となり受け付けておりましたが、多くの場合がチラシなどをご覧になられてのお一人でのお申し込みか、既に参加されているメンバーの紹介だったように記憶しています。そのチラシにつきまして、世話人の皆さんとの打ち合わせで、チラシに「男性が３０人集まっている」ことを書くと参加する側としては安心するのではないかということになり、チラシに反映させることにしました。そして、実際に参加された方に感想を聞いてみたところ、「参加してみて人数が少なかったらどうしようと思うが、３０人いるとチラシに書いてあって申込やすかった」といったお答を聞くことができました。このように私自身だけではなかなか気づくことのできない視点を学ぶことのできる世話人の皆さんとの打ち合わせはとても貴重な経験だったのだと今になって思い返します。

現在私は都筑区社会福祉協議会で勤務しており、平成２８年４月より３年目を迎えます。『男の井戸端会議』で学ばせてもらったことを生かしながら、都筑区の地域福祉を推進できるように邁進していきたいと思います。

『男の井戸端会議』がますます発展し、これから先１５年、２０年と続いていくことを祈っております。そして、またどこかで皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

（元横浜市東戸塚地域ケアプラザ 地域活動・交流コーディネーター）

横浜市東戸塚地域ケアプラザ
生活支援コーディネーター　米本　美穂

『男の井戸端会議』１０周年、おめでとうございます。

私は、平成２６年４月から２年間、地域活動・交流コーディネーターとして『男の井戸端会議』に関わらせていただきました。一か月に一度の楽しみとして集まり、男性だけでおしゃべりをする…この「男性だけでおしゃべりをする」光景が、私にはとても不思議なものでした。（上手く表現できないのですが）

『男の井戸端会議』は、人が人を呼び込み、出会いがあり、そして様々な話題に花を咲かせ、“居心地の良い”と思える空間が拡がるのだろうなぁと傍らで見ていて感じました。居心地が良いからおしゃべりも盛り上がるのでしょう。

今回、縁あって、この１０周年記念誌編集作業にも携わらせていただきました。１０年の歴史を振り返ると『男の井戸端会議』がなぜここまで発展したのか…秘訣がたくさん詰め込まれています。今後、益々の発展と、会に参加され、盛り上げてくださる皆さまのご健勝をお祈りいたします。

横浜市東戸塚地域ケアプラザ
地域活動・交流コーディネーター　木下 ひろみ

男の井戸端会議発足１０周年おめでとうございます。

「群れない」「口数が少ない」「地域活動に消極的」等々ステレオタイプな男性像を描く者にとっては驚くべき光景が『男の井戸端会議』にはありました。

一か月に一度４０人弱の男性が集まってのおしゃべり。引き続き「放課後（飲み会）」もあり自主的な「部活動（サークル活動）」も魅力的。「ルールも会費も無いから」と継続の秘訣を世話人の方から教えていただきました。

加えて世話人会の心配りとご参加の方のお互いの尊重も大切な要素だと私は思います。世話人会による事前打ち合わせは多様な人生を過ごされてきた一人ひとりを尊重する姿勢に満ちており、私はしばしば感動しておりました。ご自身の病とお気持ちについて語られた「人生スピーチ」は心打たれました。参加者の前で自分の胸のうちを話せるような安心感のある場を作り上げてきた『男の井戸端会議』。これからも東戸塚で続いて欲しいし、このような場が各所に在って欲しいと願いつつ、『男の井戸端会議』は世話人会の皆様の出会いが生み出した唯一無二の会なのだろう、とも思っております。

今後の皆様のご活躍を切に願っております。

２．活動の状況

● 年間スケジュールと行事の様子

『男の井戸端会議』の開催スケジュールは、毎月第２火曜日の１５時～１７時となっています。

会議は、司会進行役の世話人の挨拶に始まり、『男の井戸端会議』の歌を歌い、東戸塚地域ケアプラザの事務連絡、各サークルの行事案内、輪番制による「人生スピーチ」の後、井戸端会議となります。井戸端会議で話しきれなかった方は適宜二次会に流れる場合もあります。

月例会が始まって丸１年たった頃の2008年から、１月の「新年お楽しみ会」、９月の「納涼お楽しみ会」が恒例行事になりました。落語を聞きに行ったり、ボウリングを楽しんだり、懐かしい昭和時代の映画を鑑賞したり、時には真面目に講師を招いて講演会をしたり、いろいろ趣向を凝らしています。

そのほか、『男の井戸端会議』での交流を縁に派生した活動として

「健康麻雀ゆうゆう会」
「旅・たびサークル漫遊」
「ボウリングサークル」
「お風呂の会」
「ＩＨＫ：いまひま会」
「げんき会」

などがそれぞれ自主的なかたちで随時活発に活動しています。

● 話題の内容

例会では、皆さんよく喋り予定の２時間はまたたく間に過ぎます。

ある会員の奥様から「主人は月１回とても嬉しそうに『男の井戸端会議』に出掛けて行きます。どんな会なのか１度見てみたい」との話を耳にしました。（しかし、奥様の見学は未だ実現していません。）

具体的にどんな話が行き交うのでしょうか。

時事、スポーツ、旅行、趣味、健康、介護 等、その時々テーブルを囲むメンバーによって出たとこ勝負という感じで話題が広がります。

政治や宗教の話は公共施設を使用していることと、それが厳しい論争に発展するのを避けるように気をつけます。一方、テーブルを囲むメンバーで発言者が偏らないように同席している世話人の配慮も必要です。

記録されている４２１件（今迄出た話題）を大まかに集約してみました。

Ａ：少子・高齢化・退職後・老後について　Ｂ：時の話題　Ｃ：趣味

Ｄ：体験談　の４つに区分しそれぞれを整理してみると、

Ａ：少子・高齢化・退職後・老後について（１１８件）

①病気について	２１．２％	⑥その他	３７．７％
②男の井戸端会議について	１４．４％	その他の内訳： ・退職後の過ごし方　・長生き生活 ・敬老切符のこと　・散歩の効用 ・遺産相続、生前贈与 ・孤独死、葬式、お墓　等々	
③健康管理について	１２．７％		
④介護・老人ホームについて	７．６％		
⑤年金について	６．８％		

Ｂ：時の話題（２００件）

①　震災について	７．５％	⑦その他	７４．０％
②　海外の様子	７．５％	その他の内訳： ・新技術と物つくり・花見　・教育 ・迷惑メール　・裁判員制度 ・料理談義　・地方風土、方言 ・世界遺産　・民族紛争　・移住 ・時代と人生　等	
③　税金・公費の不正使用	４．０％		
④　マナー・しつけ	３．５％		
⑤　オリンピック	３．５％		

Ｃ：趣味（７２件）

①　旅行	２２．３％	⑤その他	５０．０％
②　山登り・ハイキング	９．７％	その他の内訳： ・酒の話　・絵画　・俳句 ・マラソン　・ゴルフ　・お茶 ・焼き物　・麻雀　・歴史　等	
③　音楽	９．７％		
④　スポーツ観戦	８．３％		

Ｄ：体験談（３１件）

①　戦争体験（戦地、空襲、抑留、疎開）	６１．３％
②　その他	３８．７％

各区分とも話題が系統化できない「その他」が多数を占めていて、それは話題の内容が広範囲にわたっていることを示しています。

そして妻や子ども・孫など家庭内の話題が少ないのも、女性の「井戸端会議」とは大きな違いではないかと思われます。

また、会員は節度を持った人が多く（どんな経歴なのかお互い詮索しません）、趣味も多岐にわたるので、第７０回（平成２４年７月）から“人生スピーチ”と銘打って１５分程度の話をするコーナーを設けました。自分では経験したことが無い未知の世界の経験談、趣味の内容は大変興味深いものです。

● 会がここまで発展し、続いているのは･･･

男性が集まり会話を交わし、毎回のように新会員が加わっている『男の井戸端会議』が続いている要因は何でしょうか。会員にアンケートをとり、大きく３つの要因に分類してみました。

A．気を使う必要がない・気楽に来ることができる

1　毎月の会に参加するのに事前登録の必要がなく当月の気分で参加できる
2　自由、何も規則がない。何でも話せる雰囲気で参加しやすい
3　会議と名がついても議案なし、議事録なし、発言・不発言が自由。
4　話の内容があくまでも井戸端会議レベルだから。
5　お互いの個人情報を全く知らずに己のオジサンレベルで気楽に話せる。
6　男性だけの集まりという特異性。

B．話し相手が欲しい・話が聞きたい

1　人との関わりが楽しい。色々な話・知識が得られる。
2　初対面であっても親しく会話ができる。新しい知人ができる。
3　この年齢層の人々が集って会話を楽しむ機会は他に例がない。
4　現役時代と違って皆が対等という感を持っている。
5　フリーで種々雑多な話題での話し合いが良い。二次会も楽しみ。
6　旅のこと、山のことなど同好の人達が沢山できたこと。

C．世話人について

1　世話人の配慮によるところが大きい。
2　世話人の地道な活動と熱意がある。
3　世話人の努力に感謝。

こんな感想もありました。
「みんな、みんな、とってもいい人ばかりだから、それが結論だ！」

アンケートから見えてきたことは『男の井戸端会議』が規則などの縛りもなく、毎回気楽に参加できる“熟年”男の居場所としての役割を果たしていることがわかりました。

● 世話人はこんなことをしています

『男の井戸端会議』の発案者の３人が世話人として会の運営をしてきました。その後会員の増加に伴い現在は６人体制となっています。

多数の会員が楽しく有意義な時間を過ごせるよう、世話人は大きな舵取りの役割を果たしています。月１回の井戸端会議当日は開始１時間半前から事前打ち合わせを行い、当日の司会進行分担や皆さんへの連絡事項等を整理して臨みます。また一週間後には前週の“会議”の状況について世話人の記録などを元に成果検討をし、次回以降の計画等を打ち合わせます。

毎年１月と９月には恒例の「新年お楽しみ会」や「納涼お楽しみ会」の企画、５周年では「記念お楽しみ会」を行いました。今回の「十周年記念誌」作成もこの世話人会で決まった企画です。

これまで企画・実施（継続中も含む）した主な内容は

① 人生スピーチの実施
② 各種アンケートの実施
③ 趣味別「男の井戸端会議」グループ卓の臨時設定
④ 各種同好会の支援
⑤ 写真付き会員名簿の作成

『男の井戸端会議』の対外活動として

① 戸塚区地域支援事業推進者研修「地域をますます元気に！」での発表
② 第３回とつかお結びフォーラム　パネル展示
③ ボランティアフォーラム・戸塚実行委員会主催の「困ったときのあなたならどうしますか？」分科会での「男性が活動する場」で報告等を行ってきました。

● これからは…

『男の井戸端会議』は、この１０年の間に高齢化社会の進展を背景に活動の規模は飛躍的に増大してきました。

新しい仲間が増える一方で、病気や体力の低下により月１回の参加も困難となっている仲間も出てきています。『男の井戸端会議』に参加することによって横の繋がり（地域で同年代の友人）ができ、生活・情報が更に広がり『男の井戸端会議』で出会った仲間の絆を大切に、普段の生活に活かしていければ素晴らしいと思っています。

● ある日の『男の井戸端会議』

世話人事前打合せ

会場設営

受付け

「男の井戸端会議」の歌

お知らせ

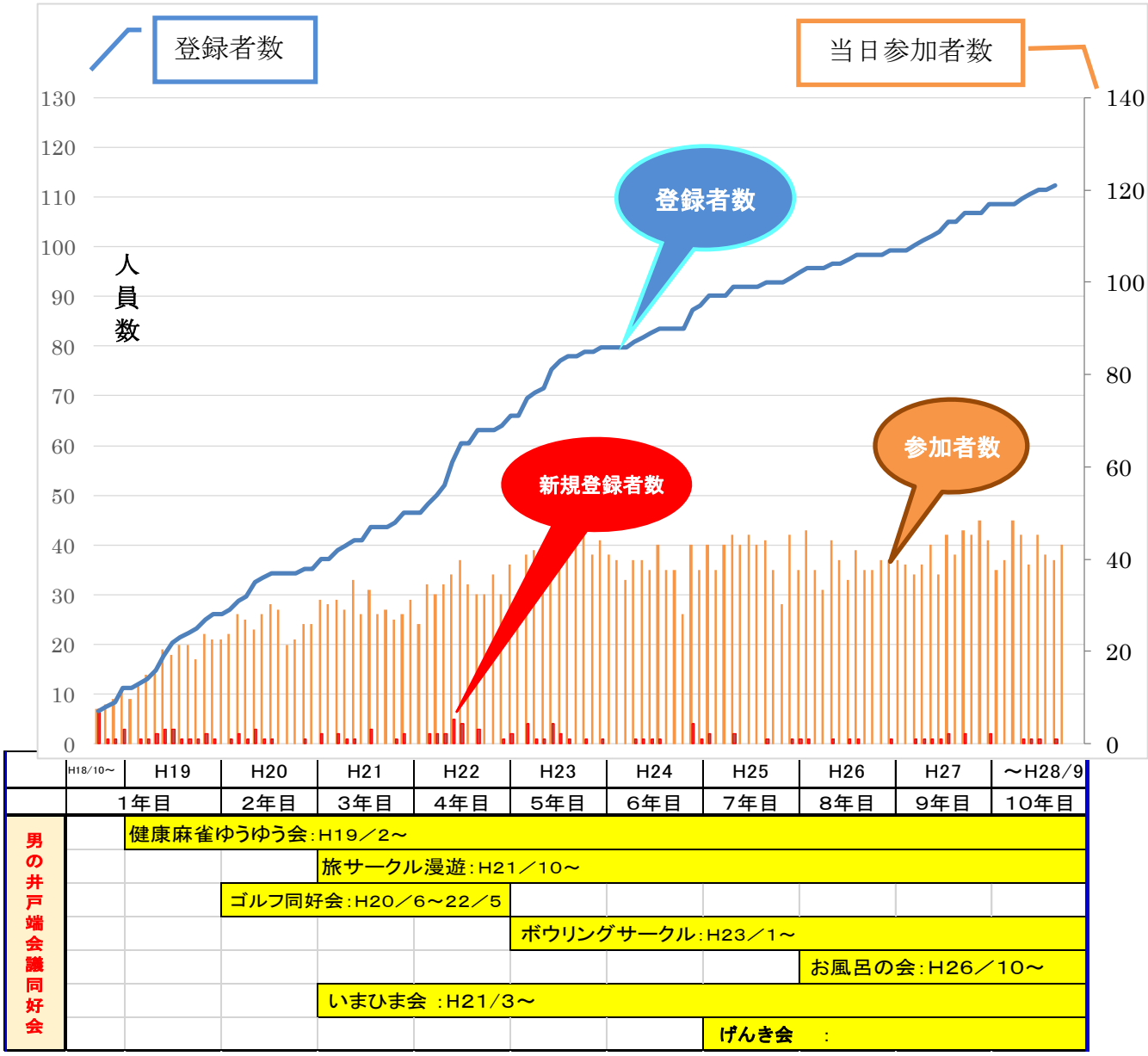
人生スピーチ

男の井戸端会議

閉会

二次会

● 会員の推移

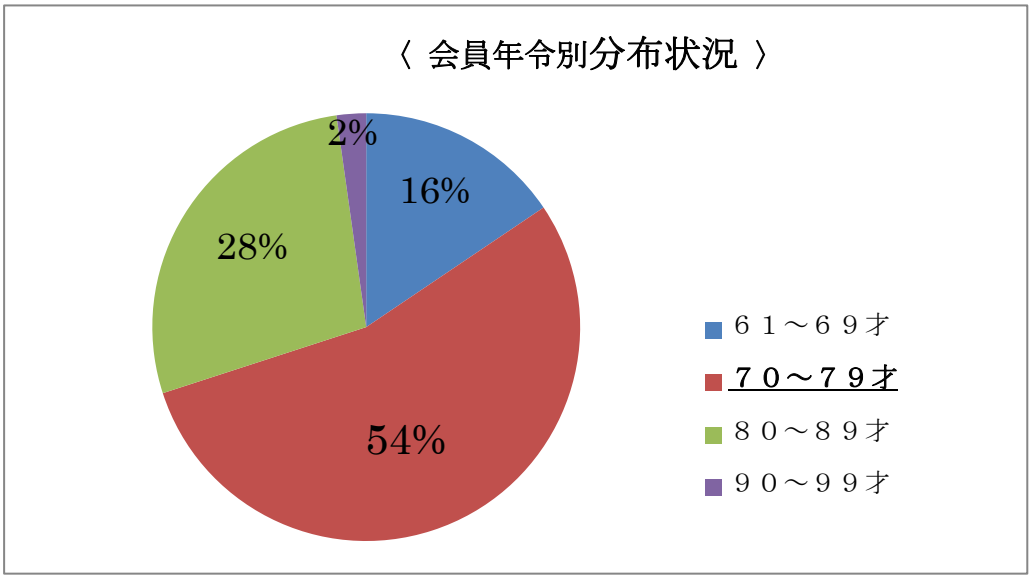


７名のメンバーで始まった月１回の定例会も会を重ねるに従い、順調に登録者数が増え、１０年を迎えた平成２８年９月には登録者数は１２２人となっています。

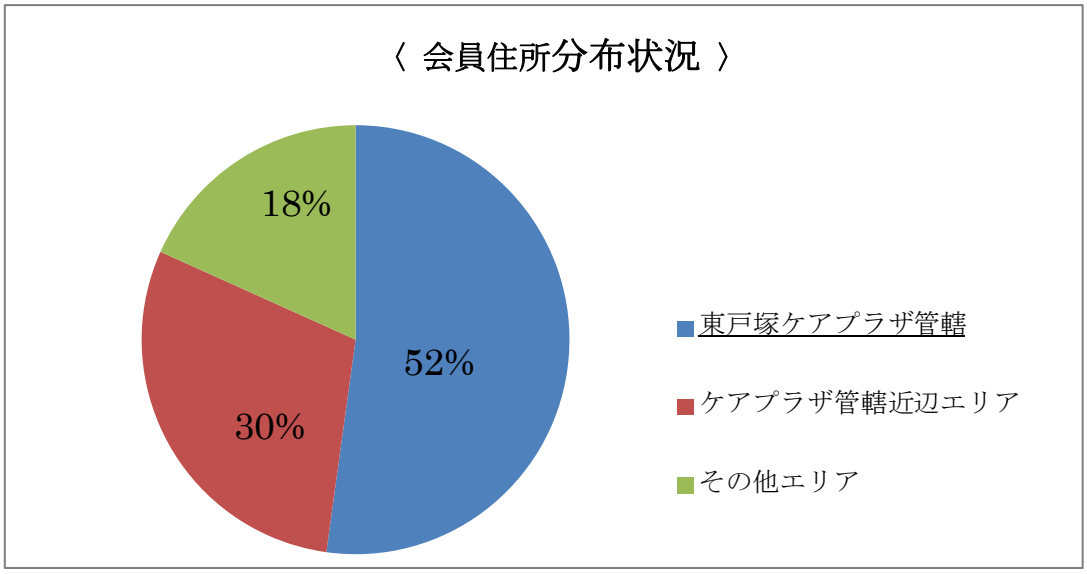
定例会の参加者数は２年目までは２０人前後でしたが５年目あたりから４０人前後となり現在に至っています。

定例会の度に毎回入会者を迎えていますが、一度に数人がまとまって入ることは少なく１人での入会が多いのも特徴です。

同好の人が集い自発的に発生した同好会も盛んに活動を続けています。
中にはゴルフ同好会のようにグループでの活動は自然消滅し、個々に誘い合って出掛けているのも『男の井戸端会議』の自由な雰囲気の表れと思われます。



平均年齢は 77 歳。
最高齢の方は 96 歳になられました。



東戸塚地域ケアプラザ管轄エリアが５割強、管轄近辺エリアが３割、
２割弱がその他からの参加者となっています。

※東戸塚地域ケアプラザ管轄エリア：品濃町、秋葉町、前田町、川上町、上品濃
※東戸塚地域ケアプラザ管轄近辺エリア：名瀬町、平戸、平戸町

３．各同好会活動

● 健康麻雀ゆうゆう会

多田 耕治

「健康麻雀ゆうゆう会」は『男の井戸端会議』の有志の発案により、2007 年２月参加者１２名でスタートしました。

現在１００名の会員、男女半々で活動しています。（男性限定の“しばり”をとりました）参加希望者が多い為、現在は東戸塚地域ケアプラザ管掌範囲にお住まいの方に限定しております。１回３時間、月に５回の開催枠を設けて、１人当たり２回の参加を割り当てます。また、３月・９月には「大会」を開催いたします。

会社生活や社会経験豊富な方々の集まりですから、「飲まない・吸わない・賭けない」が原則で、互いに「ルール・エチケット・マナー」を守り、楽しんでいただいております。

多い時は１１卓の成立があり、各卓から「ポン・チイ・ロン」「千点だ・満願だ」「わー、きゃー」と賑やかな声が飛び交い、全員和気藹々の雰囲気です。頭の体操・手の運動と仲間つくりの為、これからも元気に続けていきたいと思っております。

● 旅・たびサークル漫遊

関 定省

『男の井戸端会議』のスタートから２年半ほどたって、会員数が５０名を超えた頃に“会議”の世話人から私ほか３人が指名されて屋外活動が主体のイベントを要請されました。現在まで続いてきた「旅・たびサークル漫遊」の活動のルーツです。

たびたびお出かけしよう、という意味をこめたサークル名を４人で決めました。この４人はたまたま山歩きやウォーキングが趣味ですが、イベント企画としては種々の条件を考慮する必要があります。発足第１回目の行事にと情報を集め知恵を出し合った結果として、ラッキーな条件にも恵まれて「東京行きバスツアー」が２００９年１０月２９日に実現しました。

この後概ね年５回のペースで“たび行事”が続きますが、いずれも地元東戸塚（駅）を集合・解散の場所（例外として戸塚駅利用の方もいます）としています。

第１回の“たび”バスツアーは、お上りさんの見本みたいなメニューでしたが、今でも語り草になる程の好評さで、世話人としてはその後の活動に向けて大きなモチベーションとなりました。

年初の七福神めぐりが恒例行事になったほかは、話題性やサプライズも織り込んで行先を決めて実施してきたのが別表の一覧表です。

参加の仕方に特色があって、「実施当日に集合場所に来た方」が参加者です。事前申込不要／不参加の連絡不要。（バスツアーは例外）ご家族等の参加もＯＫにしましたから、このサークル行事は「男女混合井戸端会議たび」です。

もともとシルバー世代の活動ですから、長く続くとみんな仲良く齢を重ね、当然のことながら体力などの不安を抱えるようになります。「たび行事」の企画内容がその変化にどう折り合いをつけながら進めていくか。差し迫っている課題です。

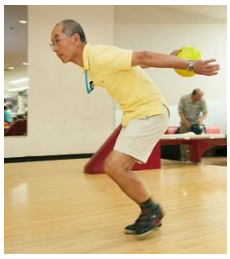
『旅・たびサークル漫遊』の実施記録（平成 28 年 9 月まで）

企画No.	た　び　先	実施日	記　　事	参加者数	
				ﾒﾝﾊﾞｰ	ｹﾞｽﾄ
1	東京都内行きバス･ツアー	H21-10-29	ｻｰｸﾙ発足　第一回記念の企画 （貸切りﾊﾞｽ＋水上ﾊﾞｽ）	20	——
2	鎌倉・七福神めぐり	H22-01-21	以後、年始の恒例行事に･･･	16	4
3	松田山公園　河津さくら	H22-03-01	桜と菜の花満開（小田急･新松田）	18	6
4	大雄山・最乗寺	H22-07-01	ｱｼﾞｻｲと大杉並木･･･幽玄静寂	13	10
5	よこすか軍港めぐり	H22-10-21	軍艦と自衛艦（見学船ｸﾙｰｽﾞ）	15	1
6	丹沢大山・もみじ狩り	H22-11-29	大山寺付近の紅葉みごと	14	2
7	羽田･七福稲荷ねぐり	H23-01-20	新装羽田空港ﾋﾞﾙ内の見学も･･･	19	7
8	六義園&巣鴨地蔵通り商店街	H23-04-26	じぃﾁｬﾝ・ばぁﾁｬﾝの原宿へ	14	2
9	横須賀・しょうぶ園	H23-06-16	花しょうぶの乱舞	14	7
10	（横須賀）猿島めぐり	H23-09-30	東京湾唯一の自然島（無人）に上陸 この回から参加費¥300 拠出に。	16	4
11	国営･昭和記念公園（立川市）	H23-11-22	銀杏並木の紅葉がみごと	11	6
12	浅草･七福神めぐり	H24-01-19	おおとり神社や観音様も	21	7
13	三浦海岸･河津さくら&三崎グルメ	H24-03-14	ついでに県立三崎公園も	17	5
14	東京ゲートブリッジ	H24-05-21	変わった形の橋、出来立て！	15	15
15	筑波宇宙センター　見学	H24-09-26	貸切ﾊﾞｽで／　宇宙に想いを･･･	24	——
16	*＜称名寺～野島公園＞*	(H24-11-26)	*荒天のため中止*	～	～
17	日本橋七福神　&皇居東御苑	H25-01-17	歩程ﾙｰﾄの下見で苦労しました	27	12
18	称名寺～野島公園（さくら）	H25-03-29	再企画／満開の桜がお出迎え	13	9
19	横浜港見学会	H25-06-03	ﾏﾘｰﾝｼｬﾄﾙ乗船、港湾施設見学	22	15
20	川越市内観光	H25-09-24	東横線～東上線直通連絡　体験	17	13
21	神宮外苑~国立競技場~新宿御苑	H25-11-25	絵画館前の銀杏並木の黄葉	19	5
22	谷中七福神めぐり（参加数記録）	H26-01-06	田畑～上野　ｳｫｰｷﾝｸﾞ	27	18
23	地球博物館＆小田原城公園	H26-04-04	好天で、桜も満開	12	7
24	県立相模原公園と麻溝公園	H26-06-24	広い園庭と温室の花々楽し！	19	8
25	箱根･仙石原&湿生花園	H26-09-29	金波銀波の前、まだ元気なｽｽｷ原	15	9
26	高尾山	H26-12-01	見納め紅葉狙い、出発時雨だった	8	2
27	柴又七福神	H27-01-05	京成線高砂駅～～、柴又で昼食	22	15
28	田浦梅林&塚山公園（安針塚）	H27-03-06	当初は曽我梅林の予定が･･･	20	7
29	高尾山＜強い要望で再企画＞	H27-05-11	今回は好天。迷子、下山ﾄﾗﾌﾞﾙも	16	8
30	八景島シーパラダイス	H27-06-15	ｱｼﾞｻﾞｲ祭、ｼﾙﾊﾞｰ割引の特典もあり	14	9
31	小網代の森　～　油壷	H27-09-28	ｱｶﾃｶﾞﾆに会えたｳｫｰｷﾝｸﾞ	19	6
32	奥湯河原～万葉の森	H27-11-30	ﾊｲｷﾝｸﾞ気分の後は足湯	17	7
33	東京･港七福神めぐり	H28-01-04	六本木~増上寺＋宝船/8 福めぐり	21	10
34	曽我梅林の梅まつり	H28-02-15	“まつり”期間限定の観光ｽﾎﾟｯﾄ	17	6
35	横須賀市･海と緑のプロムナード	H28-05-12	海辺つり公園～観音崎　10k	19	4
36	日本橋クルーズ	H28-09-30	日本橋川～隅田川　60 分ｺｰｽ	21	8

● ボウリング サークル

内田 勇二

ボウリングサークルは、平成２２年９月の『男の井戸端会議 納涼お楽しみ会』として開催されたボウリング大会がきっかけとなり、平成２３年１月に有志が集まり『男の井戸端会議』の派生グループとして発足しました。メンバーの大半は、かつてのボウリングブーム（昭和４３～４４年頃）の頃、大いにボウリングを楽しんだ経験者で、空白期間が多少あるものの、現役引退後は運動不足解消のためにも、年齢にあまり関係のないボウリングを楽しんでいます。参加は自由で、現在は毎月１回・第３火曜日に開催し、ボウリングの後は反省会を兼ねた食事会を開いています。



メンバーの投球を見ると、若い頃のように力まかせではなく、華麗なフォームで投げています。我々仲間では夢に近いとされる２００アップを達成するメンバーも出て、会を重ねるごとに上達しています。

主会場として利用していた戸塚ボウリングセンターが、平成２７年９月に閉鎖されたため、急遽、上大岡の赤い風船ボウリングクラブに変更しました。

これまでの実施状況　（H23 / 1 月 ～ H28 / 9 月）

年	回数	延参加者数	２ゲーム計 アベレージ
平成２３年	１１	６９	２３８
平成２４年	１２	８４	２５１
平成２５年	１２	９６	２５０
平成２６年	１２	９２	２５９
平成２７年	１２	１０９	２５５
平成２８年	６	４５	２６４

● お風呂の会

関 定省

　これはサークル活動とは云えないものですが、「こんなものも有ります」ということで、ご紹介いたします。
　始まりは２０１４年の秋だったか、お風呂好きの私が全くの思いつきを言い出したことでスタートしました。近くにある日帰り温泉施設の休憩と食事などを含めた会計システムが完全な明朗会計という事情を知ったのがきっかけでした。お風呂上りに居合わせたお仲間と休憩コーナーのテーブルを囲んでも個人ごとに注文することができ、終わって引き上げる段には飲食注文した分だけの請求額で支払いを済ませます。
飲んだり食べたりをしないで無料サービスの冷水グラスを前に皆との会話に加わることも可能という、すこぶる都合がよろしい環境です。
「極楽湯横浜芹が谷店」がその舞台で、東戸塚駅前からの送迎バスが利用できます。
　しからば「言いだしっぺ」が何をしたか？本当は何もしていません。最初の言い出しの際に「毎月２６日（フロと語呂合わせ)」勝手に、随意に、極楽湯で逢いましょう、とやっただけです。世話人や連絡のことなど何も決めないことで始めました。
　月の２６日が何曜日かによって、それぞれスケジュール都合がありますから、居合わせる人数やメンバーにばらつきはありますが、３人～６・７人という処でしょうか。臨時の自然発生的な井戸端会議になっています。

●ＩＨＫ：いまひま会

大友 輝男

　７年程前、山好きが自然発生的に集まり、三浦半島や丹沢山系等を歩き始めました。山の魅力はお天気に恵まれ苦労して登頂した時のあの達成感、これは体験した人のみが味わえる醍醐味です。
　最近は里山中心ですが花の時期、新緑・紅葉の時期にメ

ンバーの新企画・提案に賛同できる人達で実行しています。
　楽しいですよ、健康の為にも参加してみませんか？お待ちしております。
運が良ければ山ガールとの談笑も・・・。帰りには温泉で疲れを癒し、皆さんで楽しく飲食・反省会を致します。

参考：主な登頂記録
　　天城山、筑波山、金時山、八ヶ岳山麓、秩父山系、等々

● げんき会

大友 輝男

　『男の井戸端会議』や二次会での懇談で伴侶に先立たれた方が意外にも多いのが判り、そのような仲間とチョンガー会と称して集っていました。そのうちにチョンガーではない支援者も加わり懇親を重ねてきましたが、より多くの方に参加して頂きたく名称を「げんき会」に改めました。
　会員皆様の親睦を計ることを目的に飲食・娯楽、そして先輩方の生き方、人生訓を聞いて、豊かな日々をおくる糧になればいいなーと思っています。
　今後の方向としては年齢・性別などあまり制限を設けずに会員を募りたいと思います。
　進め方についても参加者の提案・希望を積極的に取り入れたいと考えております。

４．定例会と関連活動記録（要約）

要　旨			・１０人で第１回例会スタート ・麻雀同好会発足 ・１泊バス旅行の実施 ・「男の井戸端会議の歌」が出来る ・月例会の曜日と時間の定例化（第２火曜日１５時～）	
平成１８年　（２００６年）				
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
	8/19		・東戸塚地域ケアプラザが「男性向けミニディ（仮称）」を企画。藤原さん、山本さん、雫石さんへ呼びかけ	・ライブドアーショック、堀江メール問題
	9/ 1		・「男性向けミニディ（仮称）」の企画検討。 →　会の名称を「男の井戸端会議」とする。 ・「はれやか通信さんぽみち」１０月号に紹介される	・秋篠宮家の長男悠仁親王が誕生
1	10/21	10名	・会の趣旨説明　自己紹介と自己紹介カード記入	
2	11/25	8名	・新会員へ会の趣旨説明 ・自己紹介と自己紹介カード記入	
3	12/12	9名	・希望に応え麻雀の開催決定　ケアプラザ掲示板に。「男の井戸端会議」と「健康麻雀」紹介掲示	
平成１９年　（２００７年）　　１２月末の会員数：２８名				
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
4	1/ 9	11名	・チラシや口コミにより新規の参加者３名 ・「はれやか通信」２月号に「男の井戸端会議」と「健康麻雀くらぶ」のメンバー募集案内	・参議院通常選挙で民主党大勝
5	2/13	9名	・麻雀の会からの新規参加者あり	
6	3/13	12名	・「男の井戸端会議の歌」発表　「はれやか通信」４月号に「男の井戸端会議」と「健康麻雀くらぶ」の紹介	
7	4/10	15名	・旅の計画を提示、多くの会員から賛同を得る	
8	5/ 8	14名	・多くの会員から趣味の話あり ・5/29～5/30 山梨県「すずらんの里」１泊バス旅行	
9	6/12	19名	・出席者が２０名前後になり部屋が手狭になった為、今後の会場を１階多目的室へ変更	
10	7/10	18名	・各自が読み終えた文庫本「井戸端図書」がスタート	・新潟県中越沖地震発生
11	8/14	20名	・今年一番の猛暑。定例会後に有志が二次会に「はなの舞」に再集合、以降定例化となる。	・第一次安倍内閣発足（８月）
12	9/11	20名	・9/1　東戸塚地域ケアプラザ所長に田邊裕子氏着任	
13	10/ 9	17名	・各グループでの話内容を自由発表に	・福田康夫内閣発足（９月）
14	11/13	22名	・世話人に池田恵彦氏推薦、世話人が４人体制になる ・世話人会：１周年記念行事の検討	
15	12/11	21名	・話し合いの形式をメンバー間で意見交換、提案もあり	

平成２０年　（２００８年）　　１２月末の会員数：３８名

要　旨	・一周年記念の写真・メッセージ付き会員名簿作成し配布 ・ゴルフ同好会発足 ・例会参加者をくじ引きによりグループ編成 ・納涼お楽しみ会の実施 ・世話人打ち合わせ日の定例化			
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
16	1/ 8	21 名	・１周年の式典と懇親会「はなの舞」 ・１周年記念誌に会員のコメントと顔写真を入れた名簿を作成。アンケートの実施 ・世話人会：定例会各グループの顔触れのマンネリ化を防ぐ為、各自がクジを引きグループを決める	・野島崎沖でイージス艦衝突事故が発生 ・秋葉原通り魔事件が発生
17	2/12	22 名	・今年の抱負や健康の話が多い	
18	3/11	26 名	・アンケート結果資料を基に各グループで話し合い、各グループから結果報告 ・「うたごえ喫茶（かがやき）」に１０名参加	・北海道洞爺湖サミット開催
19	4/ 8	25 名	・ケアプラザから平成２０年度「男の井戸端会議」例会・行原案の説明、検討の結果合意された。	
20	5/13	23 名	・アンケートで要望の「すずらんの里」１泊バス旅行の案内 ・5/31～6/1　「すずらんの里」１泊バス旅行実施	・麻生内閣発足（９月）
21	6/10	26 名	・世話人に藤田清一氏推薦、世話人が５人体制になる ・ゴルフ同好会発足。	・第２９回オリンピック（北京）
22	7/ 8	28 名	・「納涼お楽しみ会」の行事計画を世話人から提案。多くの賛同あり実施へ	
23	8/12	27 名	・「納涼お楽しみ会」まとめ役の山本さんから日程費用の詳細説明	・南部陽一郎博士、小林誠博士、益川敏英博士がノーベル物理学賞 下村脩博士がノーベル化学賞　受賞
24	9/9	27 名	・男の井戸端会議発起人の新井田愛氏が寿退職。送別セレモニーをして一同感謝 ・納涼お楽しみ会「横浜にぎわい座」　２０名（9/12 実施） ・二次会「はなの舞」　１９名 ・大橋竜太郎氏（職員）が９月着任。	
25	10/14	21 名	・納涼会の収支報告	
26	11/11	24 名	・各グループで２周年記念のアイデア出し	
27	12/ 9	24 名	・２周年行事の開催日時・進め方・会費などを説明 参加者の確認。	

平成２１年　（２００９年）　　１２月末の会員数：５０人

要　旨	・「旅たびサークル漫遊」が発足し「東京都内バスツアー」を実施 ・見学団体多数、新聞社の取材 ・「とつかお結びフォーラム」へ出展 ・３周年記念の写真・メッセージ付き会員名簿作制 ・１月の新年お楽しみ会、９月の納涼お楽しみ会の恒例化

回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
28	1/13	29 名	・新年お楽しみ会、２周年の式典と懇親会「はなの舞」	・オバマ氏アメリカ大統に就任
29	2/10	28 名	・神奈川県警察本部交通部：「高齢者の事故防止キャンペーン」で来訪（女性警察官２名）	
30	3/10	29 名	・講座「認知症の予防」のお話。 ・自主活動の「お花見会」の案内　　新会員２名 ・ケアプラザ主催「うたごえ喫茶（かがやき）」開催。１１名参加。会員も企画に参画	
31	4/14	27 名	・東戸塚地域ケアプラザ 高橋真登香新所長の挨拶。 ・「旅･たびサークル漫遊」の発足 実行委員４名（榎本明雄氏、金丸貞幸氏、後藤和記氏、関定省氏）紹介 ・趣味一覧表の見直し。 ・世話人の池田恵彦氏退任。 →　新たな世話人に高山元宏氏が推薦される ・「とつかお結びフォーラム」にパネル出展を検討	・エフエム戸塚開局（４月２９日） ・新型インフルエンザの感染広がる
32	5/12	33 名	・「旅･たびサークル漫遊」の趣旨説明。 ・とつか区民活動センターが見学・取材。 ・趣味アンケートの記入　　新会員２名	・裁判員制度が始まる
33	6/ 9	26 名	・日帰り旅の予告。 ・「とつかお結びフォーラム」で男の井戸端会議、ゆうゆう麻雀などパネル展示が好評。	・横浜市長に林文子氏就任（８月）
34	7/14	31 名	・戸塚区役所広報相談担当者５名来訪、各グループで意見交換も。	・衆議院総選挙で民主党大勝 鳩山由紀夫内閣発足（９月）
35	8/11	26 名	・はまかぜ新聞社が取材。 ・「９月の納涼お楽しみ会」の日程・費用等を説明	
36	9/15	27 名	・納涼お楽しみ会　「横浜にぎわい座」に２２名。 ・二次会（はなの舞）に２３名。 手品やゲームで笑いもいっぱい	・行政刷新会議の事業が行われる 「２番ではいけないのですか！」
37	10/13	25 名	・納涼会の御礼と収支報告 ・第１回「旅･たびサークル漫遊」実施（10/29）	
38	11/10	26 名	・３周年記念行事の日時等、詳細説明	
39	12/ 8	29 名	・３周年記念行事新年会の日時確認と会費徴収 ・各自のコメント・顔写真入り名簿作成	

平成２２年　（２０１０年）　　１２月末の会員数：７１人

要　旨	・「旅・たびサークル漫遊」の活動が活発になり５回の日帰り旅実施 ・例会の参加人数増加に伴いテーブルを増やす ・趣味・特技のアンケート実施 ・３周年記念の写真・メッセージ付き会員名簿作成、配布			
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
40	1/12	24名	・新年お楽しみ会、３周年式典と懇親会「はなの舞」	
41	2/ 9	32名	・旅サークルから鎌倉七福神の実施報告	・九州南部で口蹄疫の感染が広がる
42	3/ 9	30名	・ニューシティ管理組合の関係者２名が見学。 ・新会員２名	・社民党が連立政権を離脱
43	4/13	32名	・平成２２年度の年間計画表を配布。 ・趣味・特技のアンケート記載	
44	5/11	34名	・今回からテーブル５か所配置（7名/テーブル）。 ・今月からグループ毎の内容を世話人が記録 ・新会員５名	・菅直人内閣発足（6月） ・参議院通常選挙で民主党が敗北、自民党とみんなの党が躍進
45	6/ 8	37名	・趣味アンケートにハイキング、ウォーキングと記載した方々がＡ卓・Ｂ卓で話し合い、共通の話題で大いに盛り上がる。	
46	7/13	32名	・世話人会：「納涼お楽しみ会」の下見	
47	8/10	30名	・納涼お楽しみ会のお知らせ。 ・新会員３名	・東北新幹線が青森まで全線開通
48	9/10	30名	・納涼お楽しみ会「ボウリング大会」　１７名 ・懇親会「はなの舞」　２８名	・ヨーロッパ発の世界経済危機
49	10/12	34名	・ボウリングの表彰状授与と動画を映写。	
50	11/ 9	30名	・４周年記念式典の説明。 ・12/4「とつかお結び広場」へ「ゆうゆう麻雀」（３卓が出前）「男の井戸端会議」のパネル展示	・鈴木章博士、根岸英一博士がノーベル化学賞を受賞
51	12/14	36名	・旅サークルから「丹沢・大山の紅葉めぐり」の報告	

平成２３年　（２０１１年）　　１２月末の会員数：８６人

要　旨	・５周年記念行事の実施、イベント多数 ・５周年記念の写真・メッセージ付き会員名簿作成、配布 ・例会の参加人数が更に増加、テーブル数を増加 ・東日本大震災により旅･たびサークル漫遊の「小田原公園のお花見」中止			
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
52	1/ 7		・新年お楽しみ会　　「横浜にぎわい座」　　２０名 ・４周年記念式典と懇親会（さかなや道場）　　２４名	
53	2/ 8	38名	・新会員３名	・東日本大震災３月１１日 福島第一原子力発電所 事故発生 ◀沿岸に津波に押し寄せた津波（3月11日 岩手県宮古市） ・２０１１年ＦＩＦＡ女子 ・ワールドカップで 日本女子代表が優勝 ・テレビアナログ放送終了 デジタル放送へ ・野田内閣発足（９月）
54	3/ 8	39名	・ボウリングサークルが１月に発足したことを報告 ・旅･たびサークル「小田原公園のお花見」が大震災発生により交通上不安の為中止（原発事故の影響により計画停電）	
55	4/12	35名	・東戸塚地域ケアプラザ所長に斎藤英基氏着任 ・世話人会：会員名簿（氏名・住所・電話番号）作成	
56	5/10	36名	・新会員４名	
57	6/14	43名	・出席会員が過去最高の４３名　　新会員２名 ・記念行事の案をグループで話し合い	
58	7/12	40名	・会員の趣味品出展を依頼　　新会員１名 ・世話人会：記念行事第１部の芸能の確認 ：出席者の増加に伴いテーブル数増 ：世話人の増員を検討	
59	8/ 9	41名	・テーブル数増設し６グループに ・世話人会：茶席の開催に向けて検討、 ：落語、ベリーダンス、コーラスなど調整	
60	9/13	42名	・５周年記念行事の詳細説明 ・会員名簿の更新準備の為写真撮影 ・新会員１名	
61	10/11	38名	・５周年記念お楽しみ会 ・第１部　演奏・合唱・落語・ベリーダンスなど ・第２部　作品展示 ・第３部　懇談会（さかなや道場）	
62	11/ 8	41名	・５周年記念お楽しみ会報告及び映像記録鑑賞	
63	12/13	38名	・東戸塚地域ケアプラザ片岡勇二新所長の挨拶 ・区役所担当者から「とつかハートプラン」の紹介と解説 ・世話人会：自主サークル関係者と意見交換 ：参加人数増に伴うグループテーブル数検討	

平成２４年　（２０１２年）　　１２月末の会員数：９７人

要　旨	・戸塚区職員研修会の事例発表に選ばれ、活動状況を発表 ・エフエム戸塚に出演 ・会員個人による人生スピーチ開始			
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
64	1/10	37名	・新年懇親会（さかなや道場）	・東京スカイツリー開業
65	2/14	33名	・ハートプラン運動のお知らせ	・消費税法案成立
66	3/13	37名	・５周年記念会員名簿の配布	・尖閣諸島国有化
67	4/10	37名	・エフエム戸塚の生番組出演予定のお知らせ	・韓国大統領竹島に上陸（8月）
68	5/ 8	35名	・エフエム戸塚の番組で「男の井戸端会議」を紹介 ・世話人会：会員の人生経験を語る時間を検討	・プーチン氏ロシア大統領に返り咲き
69	6/12	40名	・会員の人生経験を語るコーナーを来月からスタート ・世話人会：納涼お楽しみ会で２回目のボウリング大会の日時検討	
70	7/10	35名	・人生スピーチ：藤原正男氏 ・世話人会：人生スピーチの人選	
71	8/14	35名	・人生スピーチ：鈴木典良氏 ・ケアプラザ片岡所長が参加し話に加わる	・山中伸弥京都大学ｉｐｓ細胞研究所所長がノーベル生理学・医学賞受賞
72	9/11		・納涼お楽しみ会 ・第１部　ボウリング大会　１７名 ・第２部　懇親会（さかなや道場）　２６名	
73	10/ 9	40名	・人生スピーチ：金森弘一氏 ・世話人会：戸塚区職員研修会の事例発表に選出され、そのシナリオ検討	・第３０回オリンピック（ロンドン） ・衆議院総選挙で自民党圧勝第２次安倍内閣発足（１２月）
74	11/13	35名	・人生スピーチ：内田勇二氏 ・戸塚区役所が活動状況視察 ・世話人会：職員研修会のプレゼン方法を検討	
75	12/11	40名	・人生スピーチ：髙山元宏氏 ・新年お楽しみ会のお知らせ ・12/14　戸塚区職員研修会で発表（世話人で）	・富士山が世界文化遺産に

平成２５年　（２０１３年）　　１２月末の会員数：１０３人

要　旨	・毎回の人生スピーチが順調に進む ・会員増加に伴い世話人を６人に増強 ・年末に会員数１００名を超える			
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
76	1/ 7		・６周年新年お楽しみ会 ・第１部　新年初笑い（にぎわい座）　１３名 ・第２部　式典・懇親会（さかなや道場）　３５名	・参議院通常選挙で自民・与党が過半数 ・衆参ねじれ解消
77	2/12	40名	・世話人会：６周年の反省　各テーブル人数を各グループ人数を見直し来月から６人以内に	・戸塚区区制７０周年
78	3/12	42名	・人生スピーチ：辻俊二郎氏	・長嶋茂雄氏と松井秀喜氏が国民栄誉賞を受賞
79	4/ 9	40名	・人生スピーチ：藤田清一氏 ・世話人会：今後の１年の進め方について話し合いグループの皆が話せる工夫、井戸端図書のＰＲ検討	
80	5/14	42名	・人生スピーチ：雫石兼造氏 ・世話人会：鶴見区寺尾地域ケアプラザ田中氏来訪「男の井戸端会議」の説明	
81	6/11	40名	・人生スピーチ：山藤卓氏	
82	7/ 9	41名	・人生スピーチ：守安雄介氏 ・新会員１名（１００人目の会員）	
83	8/13	35名	・人生スピーチ：山本勇氏	
84	9/10		・納涼お楽しみ会 ・第１部　ボウリング大会（戸塚ボウル）　１７名 ・第２部　懇親会（さかなや道場）　２８名	・2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定（9月）
85	10/ 8	42名	・人生スピーチ：佐川幸也氏	
86	11/12	35名	・人生スピーチ：榎本明雄氏 ・藤原正男氏の瑞宝双光章叙勲を全員でお祝い	
87	12/10	43名	・人生スピーチ：小池靖男氏 ・新会員１名（会員数１０３人に） ・世話人会：会員の山本隆章氏が世話人に世話人６人体制となる。	

平成２６年　（２０１４年）　　１２月末の会員数：１０７人

要　旨	・７周年記念お楽しみ会で「にぎわい座」満員の為入場出来ず。 ・納涼お愉しみ会で昭和時代の映画鑑賞 ・有志による「お風呂の会」発足 ・次月の関連サークルや東戸塚地域ケアプラザ等の催事を載せた「男の井戸端会議PLUS」カレンダーを発行			
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
88	1/ 7		・７周年記念お楽しみ会 ・第１部　「にぎわい座」　満席で入場できず ・第２部　式典・懇親会（さかなや道場）　３５名	・国際過激派組織（IS）邦人人質２名殺害される（1月）
89	2/11	31名	・人生スピーチ：平井一次氏	
90	3/11	41名	・人生スピーチ：大友輝男氏 ・新年度の開催日時の通知	
91	4/ 8	37名	・人生スピーチ：関裕美氏 ・東戸塚地域ケアプラザ樋口宗典新所長、米本美穂さんの着任挨拶	
92	5/13	33名	・人生スピーチ：相墨健彦氏	
93	6/10	39名	・人生スピーチ：ケアプラザ樋口所長　サックス演奏も ・ゲストで来訪のプチハウス星様が「井戸端の歌」伴奏	
94	7/ 8	35名	・人生スピーチ：黒田勗氏 ・「お風呂の会」の発足・趣旨紹介	
95	8/12	35名	・人生スピーチ：高木昭治氏 ・ケアプラザ実習生２名の自己紹介と参加	
96	9/ 9		・納涼お楽しみ会 ・第１部　映画上映（東京物語 / 小津安二郎監督） サックス＆ギター演奏　３７名 ・第２部　式典・懇親会（さかなや道場）　２９名	・御嶽山噴火　５８名死亡行方不明５名（9月２７日）
97	10/14	37名	・人生スピーチ：佐伯節夫氏	・赤崎勇博士、天野浩博士、中村修二博士、ノーベル物理学賞を受賞（１０月）
98	11/11	37名	・人生スピーチ：山本卓氏 ・「男の井戸端会議PLUS」月間予定表を発行（以後継続）	
99	12/ 9	36名	・人生スピーチ：朝倉三男氏 ・名簿用顔写真撮影	

平成２７年　（２０１５年）　　１２月末の会員数：１１７人

要　旨	・1月の例会で１００回目を迎えた。 ・１００回記念会員名簿を作成し配布　（各自　顔写真に大満足） ・１０周年記念誌編集委員会発足（４月） ・趣味のアンケート実施

回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
100	1/13		・第１００回記念お楽しみ会 ・第1部　映画上映（お茶漬の味 / 小津安二郎監督） サックス＆ギター演奏　３３名 ・第2部　式典・懇親会（さかなや道場）　３４名	・鹿児島県川内原発再稼働（9月） ・東日本豪雨災害 鬼怒川決壊、茨城県常総市大洪水、その他関東地方、宮城県等広範囲で水害多数（9月１０日～１１日） ・安保法案可決　（9月） ・大村智博士がノーベル医学生理学賞、梶田隆章博士がノーベル物理学賞を受賞（１０月） ・１２加国がＴＰＰ合意（１０月） ・第３次安倍内閣発足（１０月） ・パリでテロ発生死者多数（１１月）
101	2/10	36名	・名簿用顔写真撮影 ・ボウリングサークル年間活動報告	
102	3/10	40名	・「八周年を振り返って」の資料配布 ・春を歌った曲「釜無川」について藤原正男氏が解説	
103	4/14	34名	・人生スピーチ：関定省氏 ・寺尾地域ケアプラザ職員他４名見学	
104	5/12	42名	・大副祥一氏から「お茶の間❤楽交」の行事ＰＲ	
105	6/ 9	38名	・人生スピーチ：後藤和記氏	
106	7/14	43名	・会員２名入会	
107	8/11	42名	・人生スピーチ：東戸塚ケアプラザ職員星野亮氏 ・納涼お楽しみ会のお知らせと参加希望者の確認	
108	9/ 8		・納涼お楽しみ会（９周年） ・第1部　講演会「終活講座」村田由美子氏　４５名 ・第2部　式典・懇親会（さかなや道場）　３０名	
109	10/13	41名	・人生スピーチ：兼平忠吉氏 ・２名入会　会員数１１７名に ・趣味のアンケート実施	
110	11/10	35名	・	
111	12/ 8	37名	・新年お楽しみ会のお知らせと参加希望者の確認	

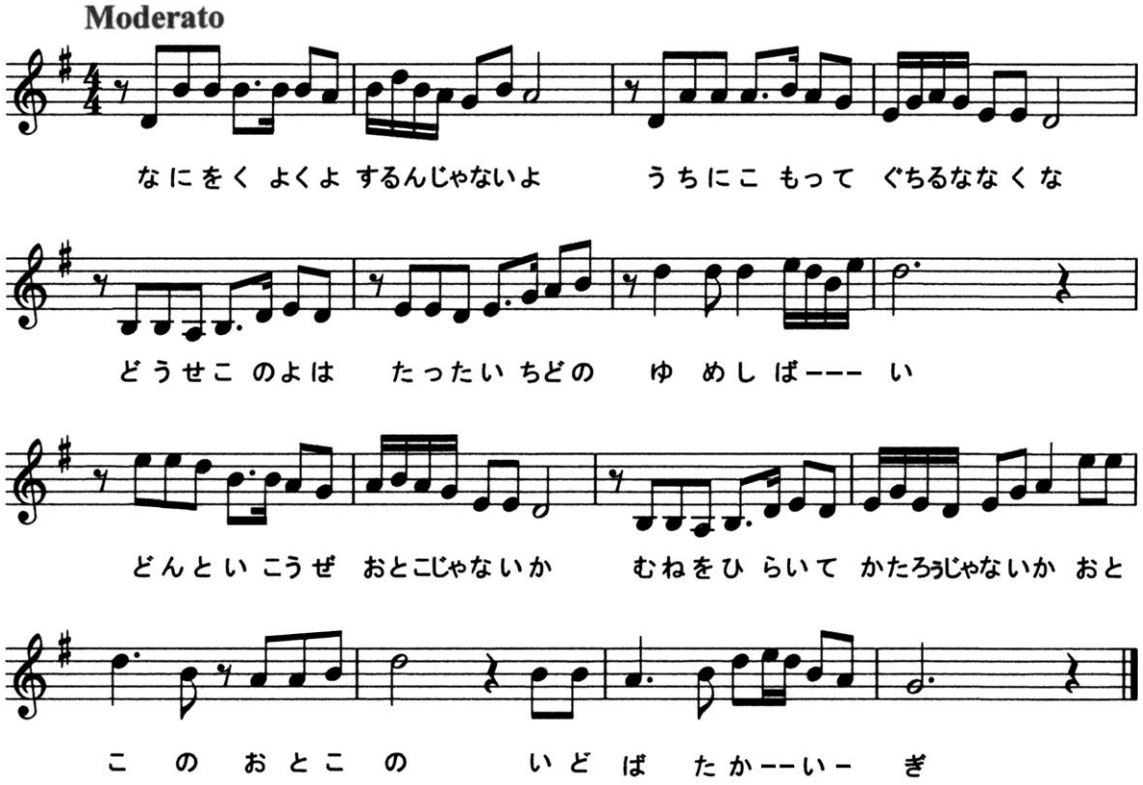
平成２８年　（２０１６年）　　９月末の会員数：１２２人

要　旨	・新年お楽しみ会で上矢部地域ケアプラザの「いいじいカフェ」による本格コーヒーの提供あり ・４月～８月　趣味別のグループ卓を設置し実施 ・納涼お楽しみ会１０周年記念講演「東戸塚の街づくりについて」 ・「十周年記念誌」編集作業完了			
回	月/日	参加数	内　　容	時　代　背　景
112	1/12		・新年お楽しみ会 ・第１部　上矢部地域ケアプラザ「いいじいカフェ」提供のコーヒーと樋口所長＆浜野氏のサックス・ピアノ生演奏鑑賞　４３名 ・第２部　講演会「介護保険制度」について　４５名 （東戸塚地域ケアプラザ星野主任ケアマネジャー） ・第３部　懇親会（さかなや道場）　３３名	・軽井沢でバス転落事故 死者１５人（1月１５日） ・記録的な寒波襲来 ・沖縄で降雪（1月２４日） ・熊本地震（ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ 7.7） 死者４９人、不明１人 関連死１２人 避難者１２万４千人 家屋倒壊数千棟 熊本城の石垣・櫓崩壊 その後も大地震頻発中 （4月１４日～） ・Ｇ７伊勢志摩サミット開催 （5月２６・２７日） ・オバマ米大統領広島訪問 原爆慰霊碑に献花 （5月２７日） ・消費税１０%延期 平成３０年１０月～ （6月3日） ・参議院選挙（7月２４日） 自民党+公明党は安定的 多数を占める ・第３次安倍内閣発足 （8月3日） ・第３１回オリンピックと パラリンピック （リオデジャネイロ） （8月～9月） ・築地市場移転先の豊洲市場 移転延期 （敷地の地盤盛土未実施疑惑）
113	2/ 9	42名	・ボウリングサークル年間活動報告	
114	3/ 8	36名	・人生スピーチ：小林義夫氏 ・男の井戸端会議シンボルマークの募集	
115	4/12	42名	・東戸塚地域ケアプラザ木下ひろみさんの着任挨拶 ・今月から８月まで趣味別グループ卓を設定 ・趣味別は「ハイキング・ウォーキング」グループ	
116	5/10	38名	・趣味別は「海外・国内・温泉旅行」グループ	
117	6/14	37名	・１０周年記念誌編集の中間報告 ・趣味別は「音楽」グループ	
118	7/12	40名	・シンボルマーク選抜４候補の決戦投票　僅少差で決まる ・趣味別は「読書」グループ	
119	8/ 9	36名	・人生スピーチ：野口祐爾氏 ・趣味別は「歴史探訪」グループ	
120	9/13		・１０周年記念お楽しみ会講演 ・第一部「東戸塚地域のまちづくり」講演会　３８名 東戸塚駅周辺街づくり開発委員会　大滝　正男氏 ・第二部　懇親会「花の舞」　２４名	

５．男の井戸端会議の歌

男の井戸端会議

作詞
作曲　藤原正男



男の井戸端会議　　作詞　藤原正男

一、何をくよくよ　するんじゃないよ
内にこもって　ぐちるな泣くな
どうせこの世は　たった一度の夢芝居
どんと行こうぜ　男じゃないか
胸を開いて　語ろうじゃないか
男の男の　井戸端会議

二、何をそんなに　ぼやくじゃないよ
自分一人で　嘆くな泣くな
どうせこの世は　思いどうりにゃ生きられぬ
どんと行こうぜ　男じゃないか
人を信じて　語ろうじゃないか
男の男の　井戸端会議

三、何を悔やんで　悩むじゃないよ
自分ばかりを　責めるな泣くな
どうせこの世は　しょせん一人じゃ生きられぬ
どんと行こうぜ　男じゃないか
明日を夢見て　語ろうじゃないか
男の男の　井戸端会議

編集後記

編集委員会が発足したのは１０周年を迎える１年半前の平成２７年４月でした。高齢男性の集まり「男の井戸端会議」、その中で指名された編集委員も勿論高齢です。年齢が進むにつれて、現役時代とは違って細かい、面倒なことが苦手になってきます。そこで余裕をもって編集しようということで、早い時期からのスタートとなりました。

編集委員といっても全員編集の経験は有りません。五里霧中のなかで記念誌のサイズ、折り込む内容の検討を進めました。まとめる上で例会の記録や会員数の推移、写真、戸塚区職員研修会で発表した資料等があり、内容の充実が図れました。

１０年間の活動内容は沢山あり編集に悩みつつ何とかまとめる事ができました。

発足初期に関心を寄せ行事にも参加された東戸塚地域ケアプラザ所長田邊様は転任し、企画・立ち上げに力を注がれた職員の讃井様、高橋（旧姓新井田）様は転任や退職をされていますが、現在もそれぞれの立場で福祉活動に活躍されています。この度、本記念誌発行にあたり快く文を寄せて頂いたり、座談会にも参加して頂きました。本誌をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

一方新卒で着任され勝手の判らない井戸端会議の運営に長い間ご助力頂いた大橋様も１０周年を待たずに転任され、この度、文を寄せて頂きました。また日頃「男の井戸端会議」に関心を寄せご協力を頂いている、東戸塚地域ケアプラザ所長樋口様、そして私達と一緒に活動して頂いた地域活動・交流コーディネーター米本様（現在は別の担当に異動）、木下様からもお祝いの文を寄せて頂きました。ここに厚くお礼を申し上げる次第です。

最後に長期間にわたり不慣れな編集に熱心に取り組んで頂いた編集委員諸氏とアシスタントに編集委員長として心から感謝申し上げます。

平成２８年10月

編集委員長　髙山元宏

編 集 委 員　内田勇二、雫石兼造、関定省、山本隆章

アシスタント　米本美穂（横浜市東戸塚地域ケアプラザ）

社会福祉法人　横浜市社会福祉協議会

横浜市東戸塚地域ケアプラザ

休館日　毎月第２月曜日及び年末年始（12/29～1/3）

開館時間（月～土）９時～21 時

（日・祝日）９時～17 時

戸塚区川上町４－４　☎８２６－０９２５（代表）

ケアプラザは福祉・保健の
地域活動拠点です。
デイサービス、ケアプラン作成、
福祉・保健に関する相談を
お受けしています。